

◆優 秀 賞◆

音楽を通じた成長

大住 中学校 三年

澤田 光希

中学校生活最後の七月、私たち吹奏楽部はコンクールに臨みました。結果は去年と変わらず銀賞でした。私たちが目指していた金賞には届きませんでした。目に見える結果と同じくらい大切だと感じるのは、日々の努力による成長です。部活動を通じた三年間、変わらず銀賞であったけど、見えない努力の喜びと成長がその先に広がっていました。

一人の力ではなく、部員全員が一つとなって成果を出す吹奏楽と言うジャンルに於いて、私たちが目標に向かって努力した毎日はとても過酷でした。暑い夏も寒い冬も、楽器を手にして音楽に心を込めることで沢山の音が一つにまとまり、調和を生むことの喜びを肌で実感しました。本番、練習の成果を発揮する瞬間は、部員全員や観客、指揮者など、その場にいた誰もが感動に包まれました。

金賞を逃してしまったことは失敗ではなく成長する機会でした。去年のコンクールでは、審査員の評価があと一点低かったら銅賞をとっていました。今年のコンクールでは、審査員の評価があと一点高かったら金賞を掴み取れていたそうです。自分たちの弱点に向き合い、限界まで挑戦する中で、私たちは成長することができました。努力は数字だけで測れるものではありません。その過程で学んだことや得たものを見つけることが大切なのだと気付きました。

部活動を通じた三年間は、私たちにとって形あるもの以上の宝物となりました。部活動の中での葛藤もありました。時には言い争うこともあり、ただ楽しい時間だけが流れていた訳ではありません。しかし、そのような時間こそが私たちの絆を深めました。困難を乗り越え、共に課題に取り組む中で、私たちは共に成長しました。そして、三年間共に練習してきた同級生にはとても感謝しています。

音楽と友情、その両方が私たちの部活動を特別なものにしました。音楽と言う見えない芸術は、私たちに成長する力を与えてくれました。成長は結果だけでなく、努力と友情の結晶でもあります。

中学校生活の最後に、吹奏楽部を通じて私たちは大切なことを学びました。音楽を通じての成長、友情の大切さ、困難を乗り越えていくことの大きさ。これまでの経験は、私たちがこれから直面する困難に立ち向かっていくための力となりました。これからも、努力を惜しまず、友情を大切に、新たな挑戦に向かって挑戦し続けていきたいと思えます。